

河内小だより

平成22年6月17日 No.13



今年度も6月8日(火)に広島県が独自に実施している、基礎・基本定着状況調査が、5年生を対象に行われました。調査項目は国語・算数・生活実態3項目でこれまでの調査と変化ありません。個人差は別として、学校としての通過率は、ここ数年基礎的な問題はほぼ平均なのですが、多くの資料を比較して課題を解決したり、お互いを結びつけて考えたりする、応用的な問題を解く通過率が低いことが課題となっています。

勉強や生活についてのアンケート(4月)

4月今年度最初の児童用の「勉強や生活についてのアンケート」を実施しました。一昨年度より河内小学校で取り組んでいる「学力の向上」には欠かせない、基本的な生活習慣です。全校児童の結果が下記のグラフ(できていると評価した人の割合)です。

残念ながら昨年度10月に実施した結果から大きな変化はありませんでした。アンケートからの課題は、今年度も「話をしたいときは手を挙げて自分の考えをはっきり言う」「誰にたいしてもきちんとした言葉遣いをする」「家に帰ってから自分で進んで勉強をする」の3項目です。低学年ではかなり高い評価率なのですが、3項目とも高学年になるに従って下がっているようです。学習する内容も量もだんだんと難しくまた多くなり、それに十分対応できていない実態があるようです。学習習慣と意欲は深く関連しています。きちんとした生活習慣と学習習慣を定着させたいものです。

